

第30回 全国実業団選抜選手権大会

平成26年12月6日~7日 川崎グランドボウル

平成26年12月6日(土)~7日(日)に川崎グランドボウルにて男子163名、女子56名が参加して行われました。本年度入賞者とアペレージ上位者による大会のために予選開始より高得点の続出となりました。

パフエクトゲームも浜野洋介選手(伊東支部: C N P)と新井秀文選手(諏訪支部: セイコーエプソン)の2選手が達成されました。

2日間の大会を通じて大会運営に協力して頂きました川崎グランドボウルの皆様と主管されました川崎支部の皆様にご挨拶申し上げます。

男子部門は予選1回戦から名古屋支部(大同特殊鋼)の山田実選手が首位になり予選最後まで他の選手に首位を渡さずに決勝戦まで進みました。

決勝戦には予選上位12名が参加して2ゲームマッチのトーナメント方式で行われました。

決勝進出12選手のの内7選手がサウスポーという結果でした。

決勝1回戦は予選通過5位から12位までの選手8選手が1回戦を戦いました。

小林庸祐選手(川崎支部: 川崎中央はりきゅう院)は倉坂健三選手(函館支部: 函館市役所)との接戦(14ピン差)を制して2回戦に勝ち上がりました。

その他の3試合は、大差により平岡修一選手(京都支部: K D A)、本望工選手(東京支部: 警視庁)、新井秀文選手(諏訪支部: セイコーエプソン)が勝ち上がりました。

新井選手は対戦相手が山本美範選手でチームメイトとの対戦を制しました。

決勝戦2回戦はシードされた4選手と勝ち上がりの4選手の対戦となりましたが、この中でも注目目はサウスポー同士の対戦で高橋浩一選手(札幌支部: 札幌市役所)と小林庸祐選手の対戦は注目でしたが、1ゲーム目の1フレームで高橋浩一選手が2投目の7番ピンをカバーする際にボールを間違えて1投目のボールを使用してミスをするボンミスもあり小林庸祐選手の勝利となりました。

新井秀文選手と飛田浩一選手の戦いは1回戦から勝ち上がった新井秀文選手が1回戦からの好調を維持して勝ち上がりました。

その他の対戦はシードされた山田実選手と榊和生選手(京都支部: K D A)が順調に勝ち上がりました。

準決勝戦は山田実選手対榊和生選手と新井秀文選手対小林庸祐選手の対戦ですが、この対戦は右投げ対左投げの戦いとなりましたが両対戦ともに左投げの榊和生選手と小林庸祐選手が勝ち上がり決勝戦に進みました。負けた山田実選手と新井秀文選手が3位決定戦に進みました。

3位決定戦では大差を付けて山田実選手が制して3位入賞を果たしました。決勝戦は左投げ対戦となった榊和生選手と小林庸祐選手により行われました。

地元の声援を受けた小林庸祐選手が常に先行してこの大会初めての地元開催優勝を果たしました。また、年齢でも80歳超の最高齢優勝となりました。

女子部門は予選3回戦でハイシリーズの734点を出した、山中明美選手(名古屋支部: セイル)が首位になり予選最後まで首位を譲らずに名古屋支部の選手が男女共に首位にて決勝戦に進みました。

決勝戦には予選上位6名が参加して行われました。

決勝1回戦は予選通過3位から6位の4選手により戦いで、石原瑠美選手(出雲支部: タカハシエムシー)対新井一江選手(佐野支部: プロシヨップたまや)は予選通過4位の石原瑠美選手が勝ち上がりました。

伊藤祐子選手(新潟支部: 広和林业)対香川楓選手(丸亀支部: 香川竹芝)前年度優勝者の対戦は予選3位通過の伊藤祐子選手が勝ち上がりました。

準決勝は予選1位の山中明美選手対石原瑠美選手と予選2位の本多松乃選手(沼津支部: 本多商事)の対戦でしたが、山中明美選手対石原瑠美選手の戦いは436対437の1ピン差で石原瑠美選手が決勝戦に進みました。

本多松乃選手と伊藤祐子選手の対戦は412対380で本多松乃選手が決勝戦に進みました。

3位決定戦は山中明美選手対伊藤祐子選手の戦いですが、伊藤祐子選手が制して3位入賞を果たしました。決勝戦は石原瑠美選手対本多松乃選手でしたがターキーで追い上げていた本多松乃選手が8フレーム目でストライクが途切れてスプリットとなりこれが致命傷で優勝を逃しました。優勝者の石原瑠美選手は初優勝を果たしました。



選手宣誓を行う前年度チャンピオン木平弘実選手と香川楓選手(チャンピオンユニフォーム着用)



優勝者決定の瞬間



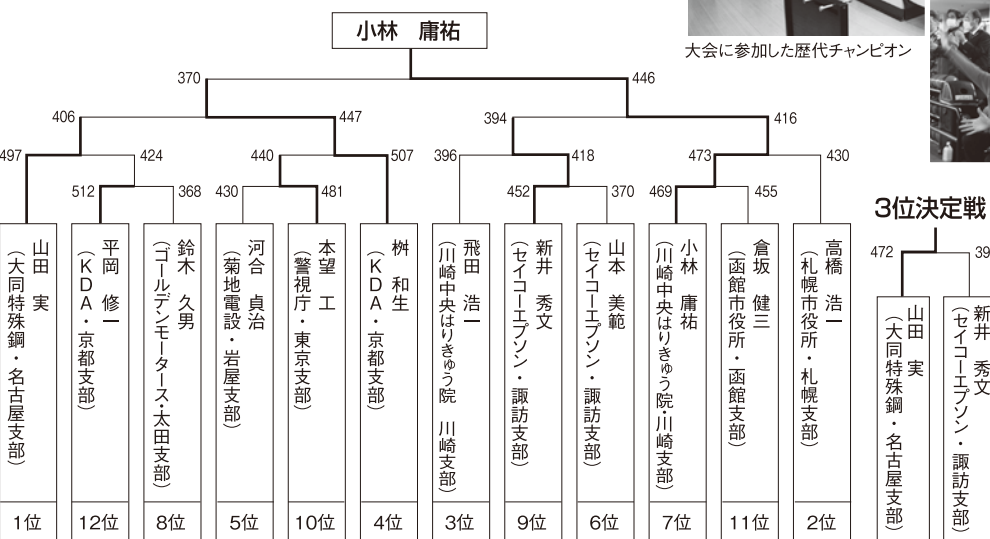
大会に参加した歴代チャンピオン

男子優勝/小林庸祐

●大会成績表(男子部門)

参加人数	参加者163名	主管支部	川崎支部	
後援/協力	(公)社)日本ボウリング協会・神奈川県ボウリング協会/川崎グランドボウル			
順位	選手名	支部	会社名	得点
優勝	小林 庸祐	川崎	川崎中央はりきゅう院	
準優勝	榊 和生	京都	K D A	
第3位	山田 実	名古屋	大同特殊鋼	
第4位	新井 秀文	諏訪	セイコーエプソン	
第5位	本望 工	東京	警視庁	
第6位	高橋 浩一	札幌	札幌市役所	
第7位	平岡 修一	京都	K D A	
第8位	飛田 浩一	川崎	川崎中央はりきゅう院	
HG	新井 秀文	諏訪	セイコーエプソン (ハンディキャップ5点)	305
HS	川口 直人	下松	日立製作所	779

●決勝トーナメント表(男子部門)



男子入賞者